CLIPPEDIMAGE= JP405314824A

PAT-NO: JP405314824A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05314824 A

TITLE: FLAT CABLE WITH SHIELD

PUBN-DATE: November 26, 1993

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
NAKAHIGASHI, FUMIKATA
YACHIDATE, TAKEZOU
SEYA, OSAMU

ASSIGNEE-INFORMATION: NAME HITACHI CABLE LTD

COUNTRY N/A

APPL-NO: JP04113607

APPL-DATE: May 6, 1992

INT-CL (IPC): H01B007/08; H01B011/06

US-CL-CURRENT: 174/36,174/117F

## ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a flat cable that does not cause crack even when it is bent repeatedly by forming a complex tape by superimposing plastic films on both surfaces of a metal foil for shield layer, and by laminate-bonding the tapes on the upper as well as the lower parts of a plurality of conductors that are arranged in parallel to one another in a horizontal line.

CONSTITUTION: A metal foil 3 is sandwiched between two plastic films 4 and 5, which is bonded into an integrated form by bonding agents 6, 7, and a complex tape 2 is manufactured. Bonding agents 8, 9 are applied to

the surface of a plastic film of each of the two complex tapes 2, while they are adhered to the upper and lower parts of each of conductors 1 that are arranged in parallel to one another horizontally in a line, and the cross section of which is flat type, and laminate-bonding is carried out so as to integrate the tapes into one. A flat cable with shield, for which the stress is concentrated on the metal foil 3 even when it is bent repeatedly, and for which there is no possibility of causing a crack, is thus provided.

COPYRIGHT: (C) 1993, JPO&Japio

# (19)日本国特許庁(JP) (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

# 特開平5-314824

(43)公開日 平成5年(1993)11月26日

(51)Int.Cl.5

識別記号

庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

H 0 1 B 7/08

7244-5G

11/06

7244-5G

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号

特願平4-113607

(71)出願人 000005120

日立電線株式会社

(22)出願日

平成4年(1992)5月6日

東京都千代田区丸の内二丁目1番2号

(72)発明者 中東 文賢

茨城県日立市日高町5丁月1番1号 日立

電線株式会社日高工場内

(72)発明者 谷地舘 竹三

茨城県日立市日高町5丁目1番1号 日立

電線株式会社日高工場内

(72)発明者 瀬谷 修

茨城県日立市日高町5丁目1番1号 日立

電線株式会社日高工場内

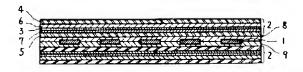
(74)代理人 弁理士 松本 孝

## (54)【発明の名称】 シールド付きフラットケーブル

# (57)【要約】

【目的】繰り返し曲げを受けてもシールド機能の低下を 来さず、製造が容易なシールド付きフラットケーブルを 提供することにある。

【構成】シールド層となる金属箔3の両面にプラスチッ クフィルム4、5を重ね合わせて接着一体化した複合デ ーフ2を、横一列に並列配置された複数本の導体2の上 下から片面のプラスチックフィルムラで重ね合わせてラ ミネート接着した



# 【特許請求の範囲】

【請求項1】シールド層となる金属箔の両面にフラスチ ックフェルムを重ね合わせて接着一体化した複合テープ を一横一列に正列配置された複数本の導体の上下から片 面のプラスチックフェルムで重ね合わせてラミネート接 着したことを特徴とするシールド付きプラットケーブ 11.

#### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【産業上の利用分野】本発明は、シールド付きのフラッ 10 トケーブルに関する

#### 【0002】

【従来の技術】一般にこの種のフラットケーブルは、丸 または平角の断面からなる導体の複数本を横一列に並列 配置し、その上下から片面に接着剤を塗布したプラスチ - ・クフィルムを重ね合わせて熱圧着によりラミネート接 着したものであり、そして、従来では、かかるフラット ケーブルを本体としてその周りにアルミ箔等の金属箔を 巻き付けたり包んだりしてシールド付きのフラットケー 護層を施していた。

#### [0003]

【発明が解決しようとする課題】前述した構成のシール 下付きプラットゲーブルによれば、繰り返し曲げを受け ると金属箔に亀製が入り。シールドとしての性能が低下 する傾向にあった。

【ロロロ4】また、金属箔を巻き付けたり包み込んだり するため、所定の成形されたシールド層とすること、よ り具体的にはケーブル長手方向で均一な層として設ける ことが難しく、長い製造時間を費やしていた。

【0005】本発明は、前述した従来技術の問題点に鑑 み、繰り返り曲げを受けてもシール下機能の低下を来さ ず、製造が容易なシールド付きプラットゲーブルを提供 することに目的がある。

#### { 0 0 0 6 }

**【課題を解決するための手段】本発明により提供するシ** ールト付きフラットケーブルは、ミールド層となる金属 箔の両面にアラスチックフィルムを重ねて合わせて接着 一体化した複合テープを、横一列に並列配置された複数 本の導体の上下から片面のプラスチックフェルムで重ね。40 m 合わせてラミネート接着したものである。

# 【0007】

【実施例】図1は、本発明のシールド付きフラットケー ブルの好ましい一実施例を示すもので、横断面が平角の 導体1が横一列に並列配置され。その上下から複合テー プロ、2が重ね合わせてラミネート接着した構造からな

【0008】しかして、複合テープ2、2は、何れも同 じ構造であって・一方の複合テープとについて説明する と、アルミ箔などの金属箔らを二枚のプラスチックフィ ルム4.5の間にサンドイッチに挟んで接着剤6.7の 存在下て接着一体化したものである。

【0009】 市のプラスチックフィルム4は、PVC のフェルムにして、他なりプラスチックフィルムうがポ リエステルフィルムにしてある。接着剤も、7の層は、 難燃剤を加えて難燃性を向上させたものや、熱硬化型に - するために架橋剤を加えたものや、識別のマーキングを 下溢りにしたものがらなり、かかる両プラスチックフィ ルム4、5の片面に塗布しておき、両プラスチックフィ ルムが金属箔 3 に重ね合わせられるときに接着削ら、7 で接着させるようにしている

【OO1O】上記のようにして構成された複合テープ。 2、とは、そのボリエステルフェルムうの表面に接着剤 8、9を塗布した状態で、複数本の導体1の上下から接 着剤8、9で重ね合わせて、他方のPVにのフィルム4 の外側から加熱圧着してラミネート接着することによ ブルを得ていた。かかるシールド層上には必要に応し保。20~り、ポリエステルフェルムラを絶縁体としたシールド付 きのフラットケーブルとしてなるものである

### 【0011】

【発明の作用 効果】以上のような本発明のシールド付 きフラットゲーブルによれば、金属箔がその両面より接 着一体化したプラスチュクフェルムでサンドイッチに挟 まれて保護され、片面のアラスチックフェルムで複数本 の正列した導体の上下からラミネート接着したことによ り所定のシールド付きのフラットゲーブルを構成したの で、シールド層となる金属箔がプラスチックフェルムを 30 介して導体と一体化され 繰り返し曲げを受けても金属 箔に応力が集中して亀製が入る心配がなく シール下効 果が減しられる恐れも無くなる

【リロ12】また、金属箔の両面からプラスチックフィ ルムをサンドイッチに挟み付けて接着一体化した複合で マルムとして、その片面のブラスチックフィルムを絶縁 層として複数本の導体にラミネート接着するようにした から、従来のような金属箔の巻き付けや包み込みの工程 を不要にして極めて容易に製造することができる

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のシールド付き フラットケーブルの一実 施例を示す横断面回

# 【符号の説明】

- 1 導体
- 2 複合フ・ルム
- 3 金属箔
- 4.5 プラスチ クフィルム
- 6、7、8、9 接着剤

【図1】

